

# 《社会学部全学科共通(2012年度以降入学者)》 2024年度卒業論文提出について(特別卒業対象者用)

## 卒業論文の提出

提出期間		提出場所
2024年7月1日(月)	9:00 ~ 17:00	池袋キャンパス 教務事務センター試験窓口
2024年7月2日(火)	9:00 ~ 15:00 締切	

- \* 上記の提出期間を過ぎた場合、理由の如何を問わず、受理しない。
- \* 学校感染症のため出校停止となった場合、不測の事態が発生した場合の卒業論文の提出については本資料もしくは履修要項 IV試験・成績を確認のうえで提出すること。指示通りに製本されていない場合は受理されないので注意すること。

## <注意事項>

### ① 提出部数

正副2部 \* 提出部数に不足がある場合は受理されないので注意すること。

### ② 提出証

提出にあたっては池袋キャンパス教務事務センターで交付する「卒業論文提出届」を添えること。  
\* 「提出届」は、提出締切日の1ヶ月前から池袋キャンパス教務事務センターで配付する。

### ③ 製本

所定の方法による簡易製本(正副ともに)をすること。  
製本方法については、指導教員に確認すること。  
\* 下記の形態については製本とみなされず受理されないので注意すること。  
(ばらばらのもの、ばらばらのまま袋に入れたもの、クリップ・輪ゴム・ホチキス・ひも等で留めたもの、はさみこむだけのバインダーを使用したもの、など。)

### ④ 本文枚数・サイズ

32,000字以上  
A4判を原則とし、判型は指導教員の指示に従うこと。  
マージンを十分にとり、読みやすい行間をとること。

### ⑤ 表紙

- ①「2024年度卒業論文」、論文題目、指導教員、履修している「卒業論文演習2」の開講学科、学部、所属学科、学生番号、氏名を明記(表紙見本参照)する。
- ②1枚目が透明シートになっている表紙を製本に用いる場合は、第1ページ(扉にあたる)に書いたものがそのまま表紙になる。そうでない場合は表紙に貼り付ける。

例. 社会学部の学生が社会学部開講の  
「卒業論文演習2」を履修している場合

表紙見本	2024年度卒業論文
	現代社会の構造と変動 —マクロデータによる検証—
	指導教員●●●●● (社会学部)
	社会学部 社会学部 学生番号 20DA001A 立教 望

例. 社会学部の学生がメディア社会学部開講の  
「卒業論文演習2」を履修している場合

2024年度卒業論文
架空のコミュニケーション —多面的現実としてのCMC—
指導教員●●●●● (メディア社会学部)
社会学部 社会学部 学生番号 20DA002B 立教 花子

- \* 印刷には予想外の時間がかかる。また、突発的なプリンターの不調も起こりうるので、それらに対処できるように、十分な時間的余裕を持って作業すること。

\*\*\*レポート・論文等の提出に際しての注意\*\*\*

レポート・論文等は、指定された提出期限後は受理しないので時間厳守のこと。交通機関等の遅延も予測されるので、提出にあたっては十分余裕をもって臨み、本人が提出できない場合は、信頼できる代理人に依頼する等の措置を講ずること。ただし、締切日当日、不測の事態により、本人または代理人が提出期限までに論文等の提出に来られない場合は、当日の締め切り時刻以前にその対応について所属キャンパスの教務窓口にお問い合わせ、指示を受けること。不測の事態とは、事件・事故や交通機関等の大幅な遅延などの場合を言う。

\*プリンター等、機器の故障は不測の事態に含まれないので注意すること。\*

学校感染症のため出校停止となった学生のレポート・卒業論文・修士論文の提出について

上記に該当した場合は、以下の指示に従うこと。

1. 上記の提出物の提出期間において本人が出校停止中である場合は、代理人を立て、当該の期間内に提出することを原則とする。代理人による不備は、依頼した本人の責任となる。
2. 1. において代理人を立てることができない場合は、締め切り時刻以前に所属キャンパスの教務窓口連絡し、指示を受けること。

く以下のすべてに該当する場合、後日の提出を認めることがある

- ① 上記2. に該当する学生であること。
- ② 医療機関が記載し証明した大学所定の書式である「学校感染症登校可能許可書」、または医療機関の発行する出校停止期間と登校可能日が記載された「診断書」の提出によって、締切日当日に学校感染症に罹患して出校提出中であった事実が証明できること。
- ③ 「出校可能となった日またはその翌日（窓口対応可能日）」に提出すること。

池袋キャンパス教務事務センター